

高齢者の日常生活における 地域福祉の課題

～高齢者への寄りそい方～



三島市議会 福祉教育委員会

三島市の高齢者の状況・・・高齢化率(65歳以上)29.6%

人口108,788人 高齢者32,244人

令和3年3月31日現在

圏域名	人口(人)	65歳以上(人)	高齢化率(%)
三島北地区 (旧市内)	21,213	5,600	26.4
三島南地区 (旧市内)	18,020	5,759	32.0
北上地区	22,642	7,064	31.2
錦田地区	21,479	6,722	31.3
中郷地区	25,434	7,099	27.9
合計	108,788	32,244	29.6

三島市の高齢者の状況・・・高齢化率(65歳以上)29.6%

人口108,788人 高齢者32,244人 ※ 地域包括支援センター一管轄エリア

三島北地区(旧市内)

町内名	人口 (人)	65才以上	高齢化率(%)
一番町	764	274	35.9
芝本町	576	209	36.3
泉町	547	228	41.7

錦田地区

町内名	人 (人)	65才以上	高齢化率(%)
川原ヶ谷(山田)	112	51	45.5
② 玉沢	308	174	56.5
① 山中新田	67	40	59.7

三島南地区(旧市内)

町内名	人 (人)	65才以上	高齢化率(%)
中央町	567	222	39.2
中(東藤代町)	232	95	40.9
青木(東藤代町)	11	6	54.5

中郷地区

町内名	人(人)	65才以上	高齢化率(%)
大場	3,275	1,228	37.5
東大場2丁目	1,125	425	37.8
東大場1丁目	1,177	492	41.8

令和3年3月31日現在

北上地区

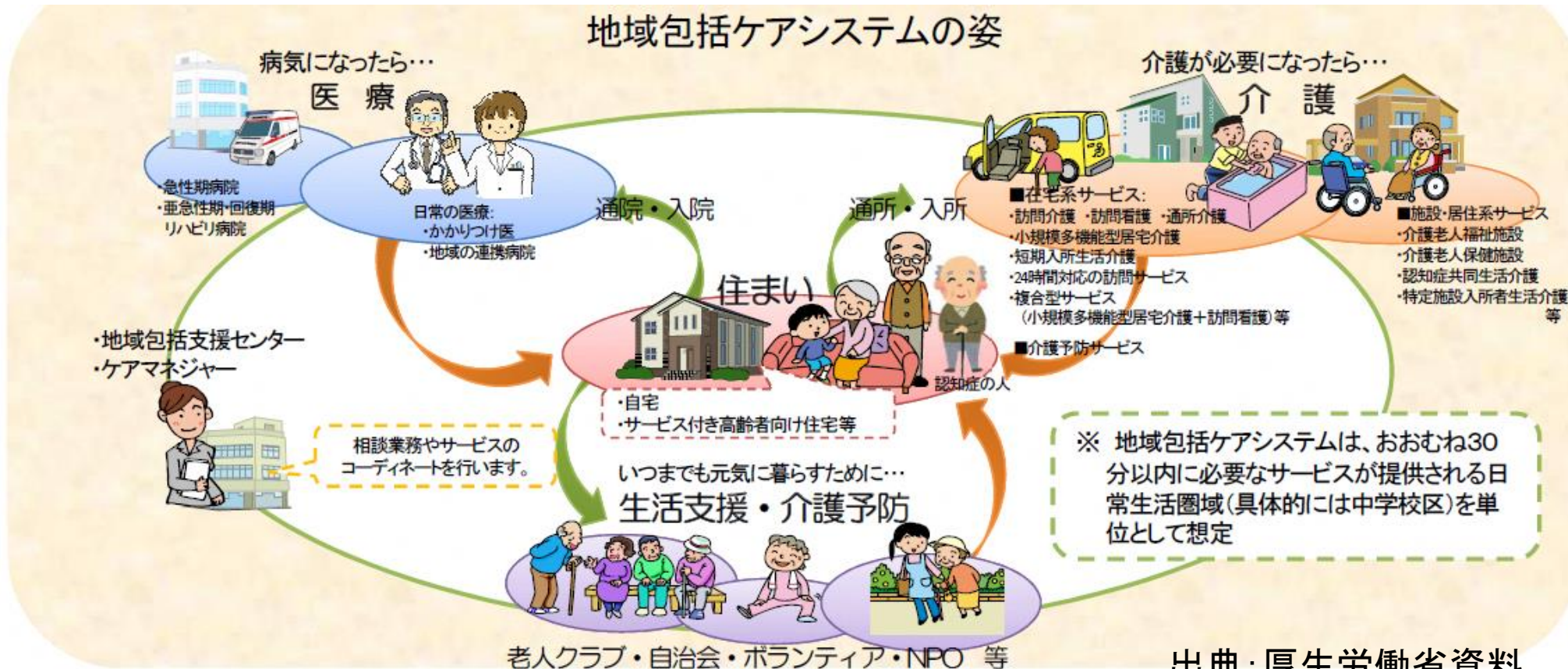
町内名	人(人)	65才以上	高齢化率(%)
芙蓉台2丁目	688	331	48.1
光ヶ丘(3丁目)	461	224	48.6
③ 光ヶ丘(2丁目)	603	340	56.4

高齢者の地域福祉の支援体制

～ 地域包括ケアシステム ～

地域包括ケアシステムとは：

住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、
住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するもの



医療・介護連携により地域包括ケアシステムの機能 「病院や施設から在宅へ」

- ①**医療** ⇒ 退院した後の在宅医療・看護・介護の体制：
急変から看とりまで、医療関係者と介護関係者の**連携**
- ②**介護** ⇒ **定期巡回随時対応型訪問介護看護、小規模多機能、
複合型サービス**が重要
- ③**予防** ⇒ 生活環境の調整と機能訓練のため、リハビリ職の活用
- ④**生活支援** ⇒ **生活支援コーディネーター**（地域支え合い推進員）による
NPO、ボランティア、企業、社会福祉法人の支援と協同
- ⑤**住まい** ⇒ 自宅、賃貸住宅、有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅
の確保と指導監督、生活困窮者の住まい確保

各地区の地域包括支援センター他

三島北地区地域包括支援センター

栄町、西若町、泉町、寿町、芝本町、一番町
大宮町1丁目、大宮町2丁目、大宮町3丁目
文教町1丁目、文教町2丁目、加茂川町
若松町、加茂、壺町田、末広町、幸原町
1丁目、幸原町2丁目、東壺町田

北上地区地域包括支援センター

沢地、千枚原、徳倉1丁目、徳倉2丁目、徳倉3丁目、
徳倉4丁目、徳倉5丁目、萩、佐野、徳倉、芙蓉台1丁目、
芙蓉台2丁目、芙蓉台3丁目、富士ビレッジ、光ヶ丘、
光ヶ丘1丁目、光ヶ丘2丁目、光ヶ丘3丁目、富士見台、
平成台、佐野見晴台1丁目、佐野見晴台2丁目

錦田地区地域包括支援センター

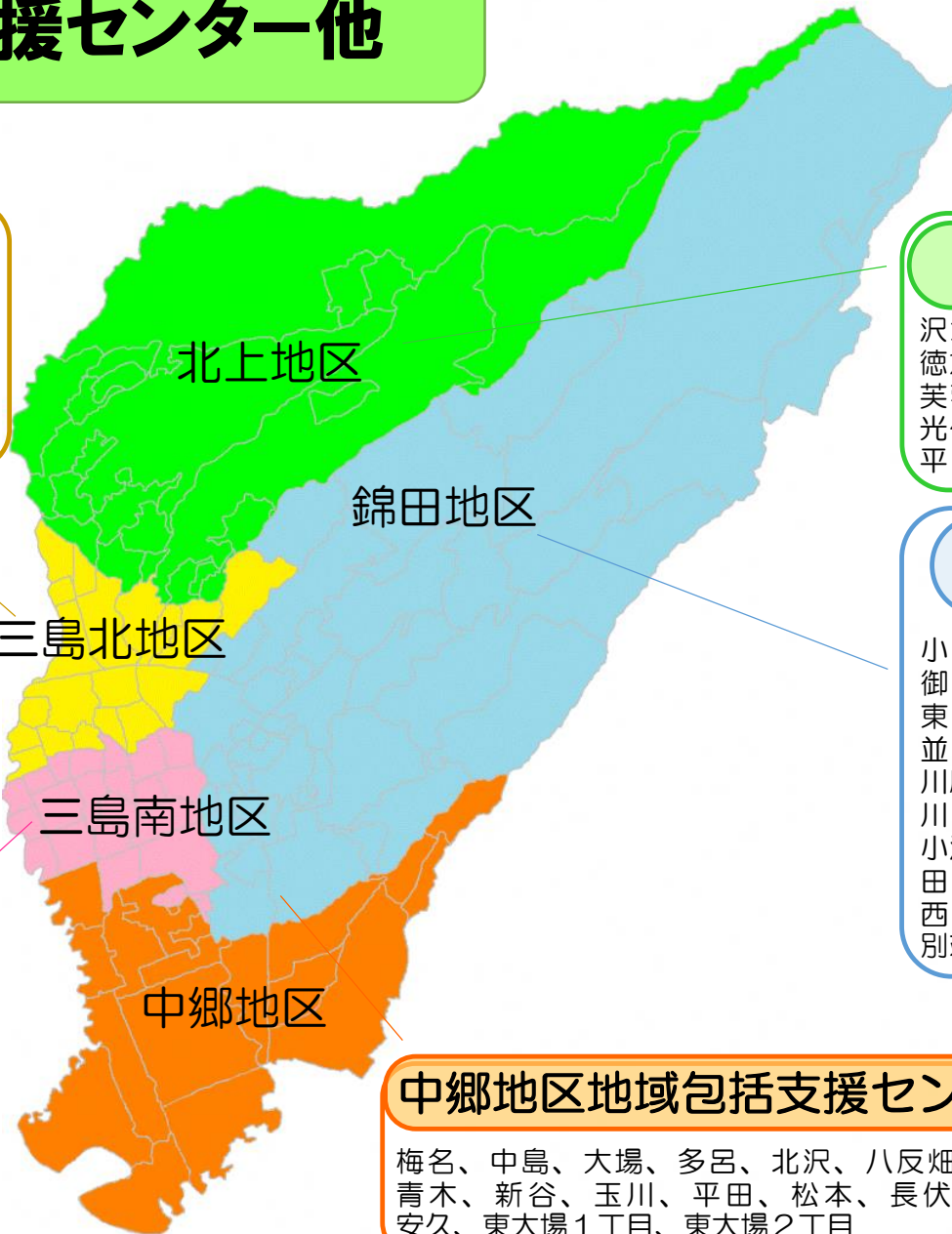
小山、小山中島、小山押切、谷田、雪沢
御門、夏梅木、中、竹倉、玉沢、台崎
東富士見、西富士見、遺伝学、桜ヶ丘
並木、柳郷地、谷田(塚の台)、小山台
川原ヶ谷(塚の台)、錦が丘、松が丘、初音
川原ヶ谷、緑ヶ丘、愛宕、初音台、山田
小沢、元山中、塚原新田、阿部野、市山新田、三ツ谷新
田、笹原新田、山中新田
西旭ヶ丘町、旭ヶ丘、三恵台、芦ノ湖高原
別荘地

地域包括支援センター三島

加屋町、清住町、三好町、西本町、緑町
南町、広小路町、本町、南本町、中央町
北田町、中田町、南田町、富田町、大社町
東本町1丁目、東本町2丁目、南二日町
日の出町、東町、藤代町、中(東藤代町)
青木(東藤代町)

中郷地区地域包括支援センター

梅名、中島、大場、多呂、北沢、八反畑、鶴喰
青木、新谷、玉川、平田、松本、長伏、御園
安久、東大場1丁目、東大場2丁目



【各圏域における人口及び高齢化率等】

各地区の地域包括支援センターの相談状況

圏域	センター運営形態	センター機能	人口 (R3.3.31時点)	65歳以上 (R3.3.31時点)	高齢化率 (R3.3.31時点)	総合相談 相談件数 (R2年度)
三島南地区	直営	基幹型	18,020人	5,759人	32.0 %	1,495件
三島北地区	委託	機能強化型	21,213人	5,600人	26.4 %	2,662件
北上地区	委託	機能強化型	22,642人	7,064人	31.2 %	1,634件
錦田地区	委託	機能強化型	21,479人	6,722人	31.3 %	3,320件
中郷地区	委託	機能強化型	25,434人	7,099人	27.9 %	2,242件
三島市計			108,788人	32,244人	29.6 %	11,353件

市内介護サービス提供事業所

(代表的なものを掲載) 令和3年4月1日現在

- ・ 特別養護老人ホーム 7か所
- ・ 介護老人保健施設 3か所
- ・ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 10か所
- ・ 小規模多機能型居宅介護 2か所
- ・ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1か所
- ・ 居宅介護支援 34か所
- ・ 訪問介護 23か所
- ・ 通所介護(デイサービス) 25か所
- ・ 訪問看護 7か所、訪問入浴介護 2か所
- ・ 通所リハビリテーション(デイケア) 3か所
- ・ 短期入所生活介護 8か所
- ・ 短期入所療養介護 3か所

等の施設・事業所があります。

高齢者が抱える課題

- **孤立・安否確認**
 - 引きこもりがちになった人の孤独死問題
 - 親族や近所との関係が希薄
- **認知症**
 - 居住地域にサロン等立ち寄る場所や見守る資源がない
- **運転免許返納・移動支援**
 - 運転免許の返納や自動車を処分されて生活のしづらさや生きがいをなくしている
 - タクシーを利用しないと買い物に行くことができず不経済となっている高齢者
- **成年後見・金銭管理**
 - 独居高齢者の増加により、知人に不適切にお金を管理される
- **家族支援**
 - 8050問題(80代(高齢)の親が50代(中高年)のひきこもる子どもを支える状況)
 - 老老介護の増加
 - ヤングケアラーの問題

地域包括支援センターの限界

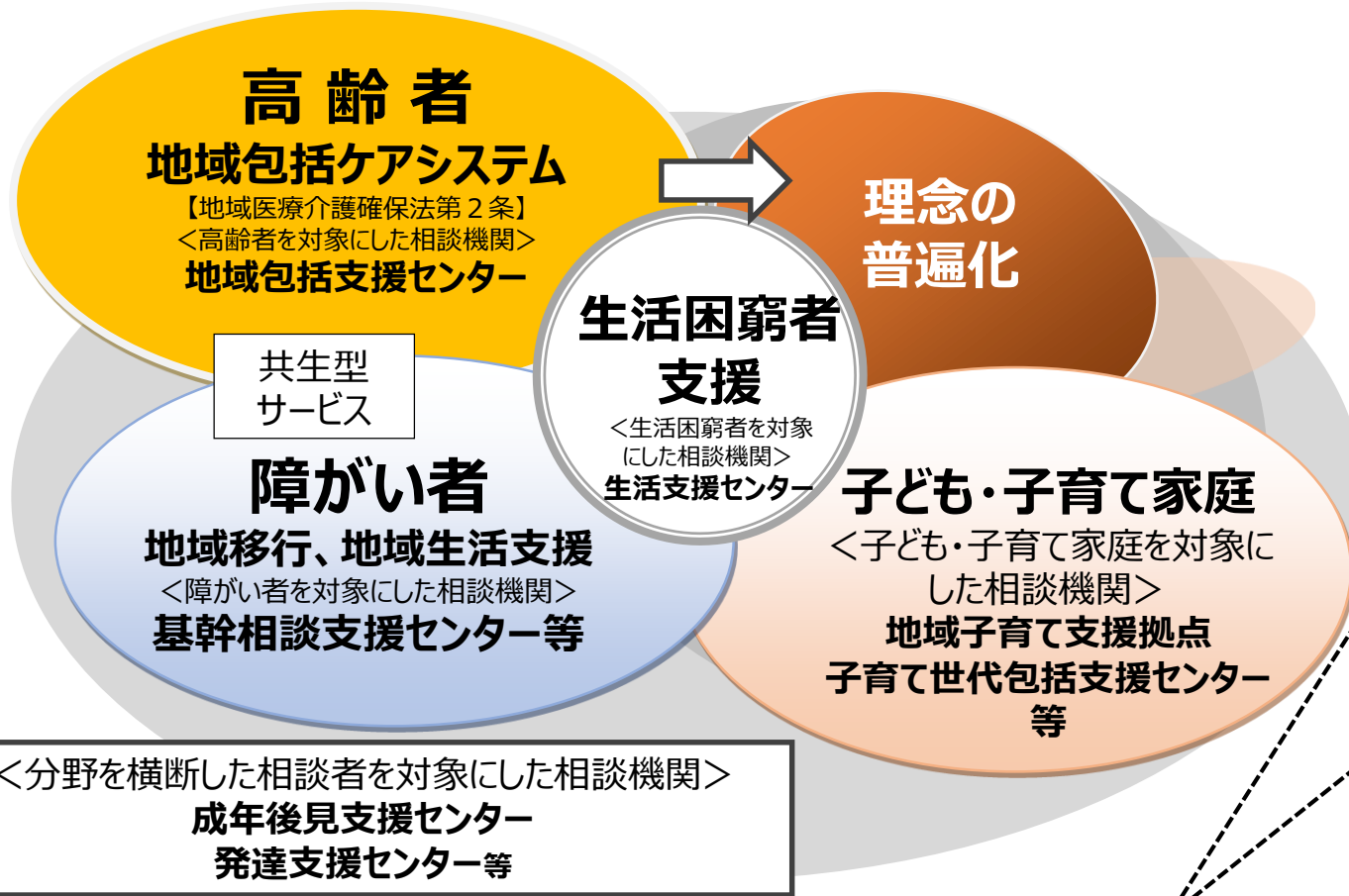
- 軽い人に対しては対応できていない。
- 地域の中で支援していく必要があるのではないか。

いつまでも元気に暮らすために…
生活支援・介護予防



老人クラブ・自治会・ボランティア・NPO 等

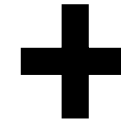
三島市における地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制



○地域における様々な福祉課題

課題の複合化

- ・高齢の親と無職独身の50代の子が同居（8050）
- ・介護と育児に同時に直面する世帯（ダブルケア）等



○既存の制度による解決が困難な課題

制度の狭間

- ・いわゆる「ごみ屋敷」
- ・障がいの疑いがあるが手帳申請を拒否 等

【資料】厚生労働省「地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制」を基に作成

課題の複合化

制度の狭間

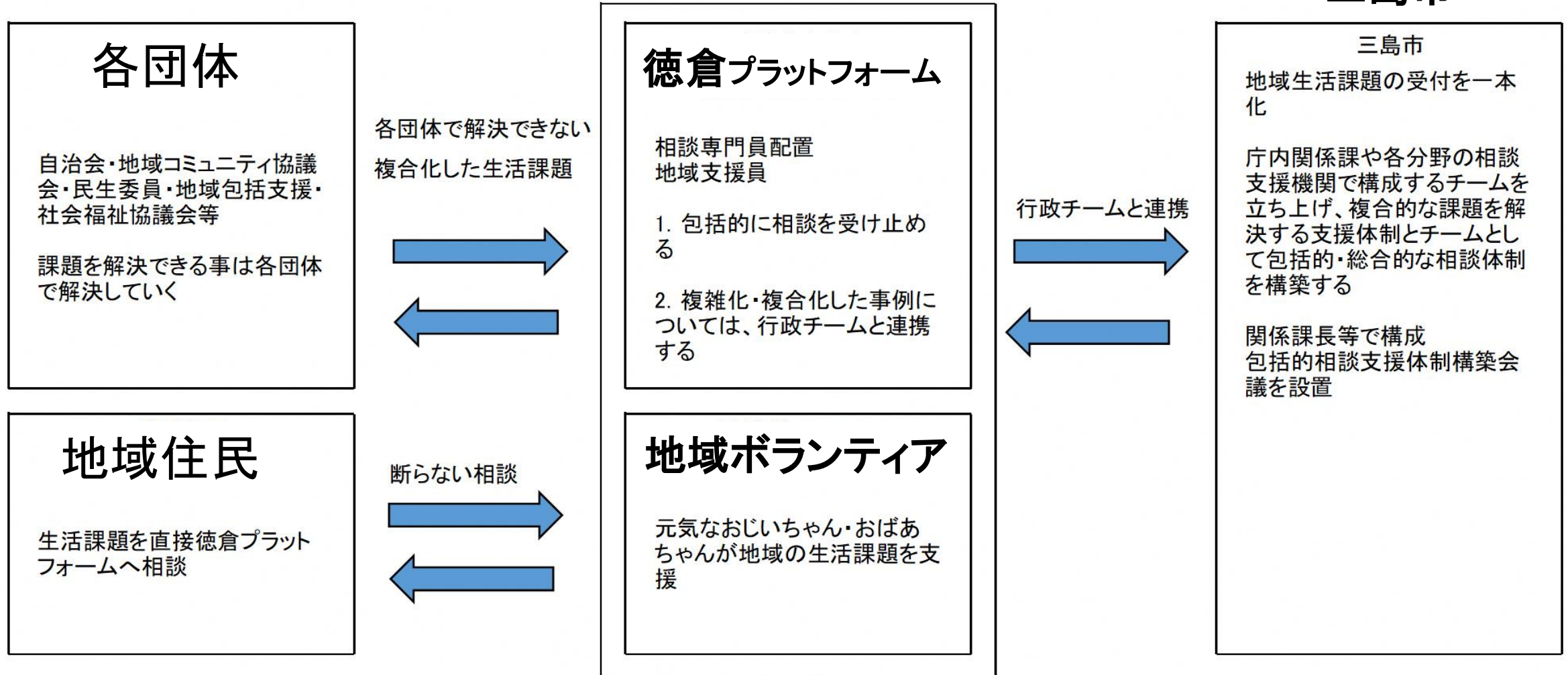
土台としての地域力の強化

「他人事」ではなく「我が事」と考える地域づくり

《市内先進事例》 徳倉地域共生社会(モデル地区)

地域住民の地域福祉活動への参加を、促進するための環境整備を行い身近な圏域において、分野を超えて地域生活課題について総合的に相談に応じ、関係機関と連絡調整等を行い、複合化した地域生活課題を解決するための体制を構築する。

三島市



《先進事例》

伊豆市 月ヶ瀬 複合施設ふらっと月ヶ瀬

調査事項 **デイサービス、こども園、就労施設プラム、プラムカフェの複合施設**

(1) ふらっと月ヶ瀬の概要

廃校となっていた月ヶ瀬小学校跡地に、民設民営で、認定こども園、デイサービスセンター、障害者就労支援施設、地域交流センターを一体化した素晴らしい複合施設「ふらっと月ヶ瀬」

(2) 取り組みの先進性

県内唯一の複合型福祉施設。一つの建物のなかに4施設が集まって、それぞれが交流することで、お互いが支えあったり、支えてもらってお互いの良さを十分発揮させようとしている取り組み





園児

高齢者

障がい者

カフェ

高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らせる 地域共生社会実現に向けて

地域では、社会的な孤立などの影響により、虐待、引きこもり、貧困などの問題が生じており、これらはさまざまに絡み合っ、個人や世帯で複数の問題を抱えるなど複合化しています。

一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら、暮らしていくことのできるよう、地域や社会が「コミュニティ」と、地域や社会をともに作ることを理念とする「地域共生社会」の実現を目指します。



本年度福祉教育委員会メンバー